

石井鶴三調査研究委員会

1 研究テーマ

上小教育と深く関わり、特に美術教育に功績の大きかった石井鶴三先生の作品展示や立体等作品展等について検討・管理・運営をし、その充実を図る。

2 研究内容

- (1) 石井鶴三美術資料室の様態替えと作品研究
- (2) 第回37上小地区児童生徒立体等作品展の計画と実施, 作品集CDの配布
- (3) 来年度の立体等作品展の市立美術館との連携の打ち合わせ
- (4) 石井鶴三委員会の活動報告の作成

3 研究のまとめと課題

7月に開催された石井鶴三美術友の会総会・講演会の中で、上田市立美術館より、清水雄学芸員をお招きし、『石井鶴三とフランス』との演題でご講演をいただきました。石井鶴三とフランスの接点を見ていくことによって、鶴三に影響を与えたものや人から、鶴三の考え方を想像してみることができ、鶴三自体が見えてくる。というお話しをお聞きました。まだ不明な点もありますが、このような視点から鶴三を見ていくと、作品の見かたも変わってきて、魅力が増していくということを教えていただきました。

昨年度予定していた第36回上小地区児童生徒立体等作品展は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催されませんでした。

今年度は、第37回上小地区児童生徒立体等作品を下記のように開催する予定です。

期間: 令和5年1月21日(土)～1月30日(月)

会場: 上田市立美術館(サントミュージゼ)内1階子どもアトリエ